理由書

防衛司令部ノ新設竝ニ陸軍航空技術研究所及陸軍航空廠ノ分離獨立ニ件ヒ陸軍省中是等ニ關スル事務ヲ掌ルモノヲ明示スル等ノ要アルニ由ル

陸

軍

軍務

貳 第一三五六號其二

参謀本部
庶日第二號ノ三九

陸軍省 昭和 10.7.8 大臣官房

陸軍省 10.7.8 軍事課

陸軍航空本部令改正ノ件外六件改正又ハ制定ノ件回答

昭和十年七月六日　参謀総長　載仁親王

陸軍大臣　林銑十郎殿

首題ノ件ニ關シ七月四日陸普第三八三五號ヲ以テ照會ノ趣異存ナシ

陸軍

閲

軍事

陸軍 密大日記

教庶第壹參四九號

陸軍航空本部令改正ノ件外六件改正又ハ制定ノ件回答

昭和拾年七月五日

教育總監 眞崎甚三郎

陸軍大臣 林銑十郎殿

陸普第三八三五號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件當方異存無之

陸軍省 昭和10.7.5 大臣官房

軍

軍書数卜一所ニこう是ラヲ

參部 密第 號ノ九

陸軍造兵廠令中改正ノ件回答

昭和十年四月二十三日　參謀總長　載仁親王

陸軍大臣　林銑十郎殿

首題ノ件ニ關シ四月八日陸普第一九一三號ヲ以テ照會ノ趣異存ナシ

陸軍

料ヲ免除セラル）
長野縣南安曇郡梓村大字梓九三〇番地

保存期限	決裁指定	決行指定
		牛島

受領番號	陸軍省 貳第七〇三號
件名	陸軍造兵廠令中改正ノ件
起元廳（課）名	軍事課

政務次官 參與官 回付

決裁 前/後 連帶課名 各局課（於務局ヲ除ク）

決行（決裁）後 回覧課名

大臣		
（花押）		
主務局長	次官	政務次官
主務課長	高級副官	參與官
主務課員	主務副官 官房御用掛 主計	書記官
		審案 筆記者

臣官房 結了 昭和 年 月 日

決裁 回覧

本件ハ航空本部令（勅令）改正ノ件
外六件ト共ニ合スルト請議上奏セラル
（中ヨリ出テ茲ニ添付ス）

陸軍

參謀總長ヘ照會案（陸普）

首題ノ件別紙勅令案ノ通改正致度異存無クハ閣議ニ提出致スヘク照會ス

陸普第一九一三號　昭和十年四月八日

右異存ナキ旨回答アリタル後

請議案

陸軍造兵廠令中改正ノ件別紙勅令案ノ通相成度理由書相添ヘ閣議ヲ請フ

朕陸軍造兵廠令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和　年　月　日

內閣總理大臣

陸軍大臣

官報照合

勅令第　號

陸軍造兵廠令中左ノ通改正ス

第十四條ノ二　陸軍造兵廠ハ技術ニ從事スヘキ各兵科（航空兵科ヲ除ク
幹部候補生ニ對シ技術ニ必要ナル教育ヲ實施スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

陸

軍

理由書

（進級ニ就テハ）技術ニ従事スヘキ幹部候補生ノ技術教育~~ニ條件ヲ加フルノ要アルニ由ル~~ニ於テ行フノ要アルニ由ル

陸軍

二 二

保存期限	決裁指定	次官	決行指定
			牛島

永久甲

受領番號	陸軍省受領 一三四六號
件名	陸軍航空本部業務分掌規程ノ件
起元廳(課)名	軍事課

政務次官 參與官 回付

決裁前後連帶課名 補、兵、陸、徴、器、統、書

決行(決裁)後回覧課名

主務局課 番號	主務局課 受領	主務局課 提出	大臣官房 受領	大臣官房 結了
軍事課第六五號	昭和 年 月 日	昭和拾年七月五日	昭和 年 七月三日	昭和 年 八月三日

大臣 委

主務局長	次官	政務次官
	橋本	

主務課長	高級副官	參與官
橋本	牛島	

主務課員	主務副官 官房御用掛主計	書記官
		日高

連帶 局長	決行(決裁)後回覧 局長

連帶 課長	決行(決裁)後回覧 課長

審案

陸達案

陸達第　　號

陸軍航空本部業務分掌規程左ノ通定ム

昭和十年七月三十日　陸軍大臣林銑十郎

（以下別紙）

陸達第十六號

七月三十日

官報照合

陸達第十六號

陸軍航空本部業務分掌規程

第一條　總務部第一課ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　本部一切ノ業務整理ニ關スル事項

二　庶務、人事及經理ニ關スル事項

三　航空部隊ノ編制、裝備及動員ニ關スル事項

四　第二課及他部主管ニ屬セザル事項

第二條　總務部第二課ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　航空ニ關スル事項（他部主管事項ヲ除ク）ノ調査及研究

二　航空諜報ニ關スル事項

三　航空思想ノ普及及民間ニ於ケル航空教育ノ指導ニ關スル事項

第三條　第一部ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　航空兵科諸軍隊本科專門教育及氣球隊練習部ニ於ケル教育ニ關スル事項

二　陸軍飛行學校及陸軍航空技術學校ニ關スル事項

第四條　第二部ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　航空ニ關スル器材ノ制式統一及同制式圖ニ關スル事項

二　航空ニ關スル器材、燃料等ノ整備及檢査ニ關スル事項

三　陸軍航空技術研究所及陸軍航空廠ニ關スル事項

四　監督官業務ノ統制ニ關スル事項

五　民間軍需品工場ノ利用、培養及統制ニ關スル事項

第五條　監督官長及監督官ハ昭和九年陸達第一號ニ規定スル業務（軍需品工場ニ對スル監督ノ業務）ヲ掌ル

附則

本達ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年陸達第三十五號陸軍航空本部事務分掌規程ハ之ヲ廢止ス

七 經費決算

受ノ部

一金五萬壹千百合貳圓四合四厘

第二二三號

保存期限	決裁指定	決行指定

受領番號	陸軍省受領 武第一四一七號
件名	衛戍病院令中改正ノ件
起元廳(課)名	軍事課
政務次官 參與官 回付	
決裁 前 後	軍令
連帯課名	徴、医、衛、主、賦、動、補
回覽(決裁)後課名	

主務局課 番號	受領	提出	大臣官房 受領	結了
軍事課第一五三號	昭和 年 月 日	昭和十年 六 月 日	昭和 年 七月 日	昭和 年 八月三日

大臣

次官

政務次官

主務局長

高級副官

參與官

主務課長

主務副官 官房御用掛 主計

書記官

主務課員

案筆記者

連帯 局長 / 課長

決後回覽(決裁)行 局長 / 課長

陸軍省 10.7.6 第56 人事局補任課

陸軍省 10.5.23 醫事課

陸軍省 10.7.8 補任課

陸軍省 10.7.4 午後 主計

陸軍省 10.7.4 監査課

参謀總長ヘ照會案

衛戍病院令中別紙勅令案ノ通改正致度異存ナクハ閣議ニ提出致スヘク照會ス

陸普第三九三六號　昭和十年七月十日

右異存ナキ回答アリタル後

請議案

衛戍病院令中別紙勅令案ノ通改正相成度理由書ヲ具シ閣議ヲ請フ

陸普第四一一五號　昭和十年七月十八日

朕衛戍病院令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

御名御璽

昭和十年七月廿九日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第二百二十七號

衛戍病院令中左ノ通改正ス

官報照合

七月廿四

[illegible]及ビ療養所ノ件

區分ノ件

稱呼ノ件

「下士」ヲ「下士官」ニ改ム

第五條中「朝鮮、臺灣又ハ滿洲」ヲ「朝鮮、臺灣又ハ關東州及滿洲國」ニ改ム

第六條中「朝鮮、臺灣及滿洲所在ノモノヲ除ク」ヲ「(朝鮮、臺灣、關東州及滿洲國所在ノモノヲ除ク)」ニ改ム

第七條中「看護卒」ヲ「看護兵」ニ、「補助看護卒」ヲ「補助看護兵」ニ、「磨工卒」ヲ「磨工兵」ニ改ム

奉納供物ハ各宮殿下ノ白羽二重ヲ始メ岡田首相、各省大臣、牧野内大臣、貴

第九條中「東京ニ在リテハ第一師團長、習志野ニ在リテハ騎兵第二旅團長、要塞所在地ニ在リテハ要塞司令官、龍山ニ在リテハ第二十師團長、満洲ニ在リテハ關東軍司令官」ヲ「(東京ニ在リテハ第一師團長、習志野ニ在リテハ騎兵第二旅團長、所澤ニ在リテハ近衛師團長、要塞所在地ニ在リテハ要塞司令官、龍山ニ在リテハ第二十師團長、關東州及満洲國ニ在リテハ關東軍司令官)」ニ改ム

附則

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

理由書

衛戍病院ハ當該所在地高級團隊長ニ隷スル如ク定メラレアルモ今次陸軍平時編制ノ改定ニ伴ヒ新設セラレタル所澤衛戍病院ハ其所在地ニ軍隊ナキヲ以テ特ニ近衛師團長ニ隷スル如ク字句ノ修正ヲ行フノ要アルニ由ル

閲

軍事

密受第一四四三號其一

陸軍

参謀本部 庶日第一號ノ22

衛戍病院令中改正ノ件回答

昭和十年七月十七日 参謀總長 載仁親王

陸軍大臣 林銑十郎殿

首題ノ件ニ關シ七月十日陸普第三九三六號ヲ以テ照會ノ趣異存ナシ

陸軍大臣官房 昭和10.7.18 午前
岡田
陸軍省 10.7.1[illegible] 軍事課

四[redacted]號

保存期限	
決裁指定	
次官	
決行指定	牛島

受領番號	陸軍省受領 貳第一四一八號
件名	陸軍造兵廠服務規程中改正ノ件
起元廳(課)名	軍事課
政務次官 參與官 回付	
決裁前後 連帶課名	徵、銃、補、書、動、給
決行(決裁)後 回覽課名	

永久甲

大臣	
政務次官	
次官	
主務局長	
參與官	
高級副官	
主務課長	
書記官	
主務副官 官房御用掛主計	
主務課員	
審案 筆記者	

主務局課			大臣官房	
番號	受領	提出	受領	結了
軍事[illegible]第二五號	昭和 年 月 日	昭和十年七月十一日	昭和 年七月十一日	昭和 年八月三日

連帶	決行(決裁)後回覽
局長	局長
課長	課長

陸軍

陸達案

陸軍造兵廠服務規程中左ノ通改正ス

第一條中第六號ヲ第七號トシ第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

六 技術ニ従事スヘキ各兵科（航空兵科ヲ除ク）幹部候補生ノ教育ノ統轄ニ関スル事項

第二條第五號中「軍需工業動員」ヲ「軍需動員」ニ改ム

第五條 工廠及直轄製造所ハ兵器其ノ他ノ製造及之ニ伴フ諸般ノ業務並陸軍造兵廠令第十四條ニ依ル物品ノ試験、製造ノ指導又ハ

製造ノ技術ニ從事スル者ノ養成其ノ他技術ニ從事スヘキ各兵科（航空兵科ヲ除ク）幹部候補生ノ技術ニ必要ナル教育ノ實施ニ關スル事項ヲ掌ル

火工廠ハ前項ノ外軍用火藥ニ關スル調査、研究ヲ掌ル

第十條　長官ハ陸軍造兵廠廠員トシテ發令セラレタル高等官ニ部附ヲ、造兵廠附トシテ發令セラレタル高等官、准士官、下士官又ハ判任文官ニ部附、工廠附又ハ直轄製造所附ヲ命スルコトヲ得

兵軍楽隊

陸海軍軍楽隊ハ四月廿六日以後左ノ通交互出場ス

附則

本達ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

七月三十日

陸達第十七號

理由

幹部候補生ニ對スル技術教育ノ件ヲ加フルノ要アルニ由ル

保存期限

決裁指定

大臣

決行指定

牛島

受領番號 陸軍省受領貳第一四七八號

件名 飛行團司令部令制定ノ件

起元廳(課)名 軍事課

政務次官 參與官 回付

決裁後 連帶課名 兵備、防、動、補、恩、銃、主、醫、建、衛、馬

決行(決裁)後 回覽課名

大臣 ム

主務局課 番號 軍事備第三八號

受領 昭和 年 月 日

提出 昭和十年七月十八日

受領 昭和 年 七月十八日

結了 昭和 年 八月六日

連帶 局長 課長

決行(決裁)後回覽 局長 課長

主務局長　主務課長　主務課員

次官　高級副官　主務副官　官房御用掛主計

政務次官　參與官　書記官

陸軍省 10.7.10 125 補任課

陸軍省 10.7.9 368 防備課

陸軍省 10.7.15

陸軍省 10.7.17 4時 恩賞課

陸軍省 10.7.9 受 兵務課

陸軍省 10.7.10 銃砲課

四月廿六日招魂式　陸軍戸山學校軍樂隊

四月廿七日臨時祭　午前　陸軍戸山學校軍樂隊

午後　海軍軍樂隊

總長、總監ヘ照會案（陸普）

首題ノ件別紙軍令案ノ通制定致度

異存ナクハ可仰 允裁理由書ヲ添ヘ照

會ス

一 陸普第四一三二號 昭和十年七月十九日

右異存ナキ旨回答アリタル後

飛行團司令部令制定並施行ノ件

上奏案

飛行團司令部令別紙軍令案ノ通制定相成

之カ施行ヲ命セラレ度理由書ヲ具シ謹テ

奏ス

副書上奏

（大臣ハ参内セズ）

上奏 七月二十三日

人員　二〇三〇（十八〇

人　十

内閣總理大臣ヘ報告案

飛行團司令部令別紙ノ通制定セラレタルニ付報告ス

陸普第四三五三號　昭和十年八月一日

包装シ各戸ニ一箇宛交付スルノ準備ヲ為ス

軍令　案

朕飛行團司令部令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名御璽

昭和十年七月廿九日

陸軍大臣　林銑十郎

軍令陸第十四號

七月卅日

官報照合

軍令陸第十四號

飛行團司令部令

第一條　飛行團長ハ部下軍隊ヲ統率ス

第二條　飛行團長ハ部下各隊教育ノ進歩ヲ圖リ軍紀、風紀、内務、經理、衛生及動員計

畫ヲ統監ス

第三條　部員ハ飛行團長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ事務ヲ掌ル

第四條　副官ハ飛行團長ノ命ヲ承ケ司令部一般ノ庶務ニ從事シ且司令部ノ經理事務ヲ掌ル

第五條　書記ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

附　則

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

理由書

各種兵科ノ飛行部隊ヲ集結使用スヘキ趨勢ニ鑑ミ其ノ指揮機関ヲ常備シ訓練ノ精到ヲ期スルノ要アルニ由ル

一、遺族接待ノ業務ハ豫メ細部ノ實施要領ヲ定メ實施セリ

二、受付及記念品等ノ交付

四月廿五日正午ヨリ受付及記念品等ノ交付ヲ開始セリ受付人員左表ノ如ク

參謀本部 庶日第二號ノ五二

貳第一〇七八號

飛行團司令部令制定ノ件回答

昭和十年七月二十二日　參謀總長　載仁親王

陸軍大臣　林銑十郎　殿

首題ノ件ニ關シ七月十九日陸普第四一三二號ヲ以テ照會ノ趣異存ナシ

陸軍

至急

貳第一〇四六八號

教庶第壹四八五號

飛行團司令部令制定ノ件回答

教育總監渡邊錠太郎

昭和拾年七月廿貳日

陸軍大臣林銑十郎殿

昭和十年七月十九日陸普第四一三二號照會ニ係ル首題ノ件異存無之

陸軍省 昭和 10.7.23 午前 大臣官房

陸軍

第二六

保存期限

決裁指定

大臣

決行指定

牛島

陸軍省受領 貳第一三四九號

軍事課 第三 4 號

受番	件名
陸軍省受領 貳第一三四九號	所澤陸軍飛行學校令外三件制定ノ件

起元廳(課)名：軍事課

政務次官 參與官 回付

決裁 前後 連帶課名：兵、徴、動、補、恩、衛、經、衣、醫、兵器

決行(決裁)後回覽課名

主務局課			大臣官房	
番號	受領	提出	受領	結了
軍事課第三 4 號	昭和　年　月　日	昭和　年　月　日	昭和　年七月三日	昭和　年八月九日

大臣

主務局長	次官	政務次官
主務課長	高級副官	參與官
主務課員	主務副官 / 官房御用掛主計	書記官
		審案筆記者

連帶	決後回覽(決裁)行
局長	局長
課長	課長

陸軍

出日天覧…官ヨリ勅…セル説明ヲ[illegible]

ニ…拝…サル選抜ヲ經テ…ヲ準備セシム

午後十二時二十分終了ス拜觀後ハ逐次ニ自動車ニ依リ明治神宮外苑水泳場
ニ輸送シ他ノ拜觀セサル遺族ヲ併セ御苑拜觀ヲ準備セシム
此日天候良好侍從武官ヨリ懇切ナル説明アリ又退出ノ際各人御煙草及明治

参謀總長及教育總監ヘ照會案

首題ノ件別紙軍令案ノ通制定致度異存ナクハ
可仰允裁理由書ヲ添ヘ照會ス

陸普第三七九八號 昭和十年七月三日

右異存ナキ回答アリタル後

所澤陸軍飛行學校令外三件制定並施行ノ件

上奏案

所澤陸軍飛行學校令制定ノ件外三件別紙軍令
案ノ通制定相成之カ施行ヲ命セラレ度理由書ヲ具
シ謹テ奏ス

（別紙）

制定 上奏
（大臣ハ参内セス）

上奏 七月二十三日
内閣送 月

天皇ノ建安府ニ關スル御製ヲ拜受シ一同深ク皇室ノ殊遇ニ感激ス

六、新宿御苑拜觀（同日）

内閣總理大臣ヘ報告案

所澤陸軍飛行學校令制定ノ件外三件別紙ノ通制定セラレタルニ付報告ス

陸普第四四〇一號 昭和十年八月五日

朕所澤陸軍飛行學校令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名御璽

昭和十年七月廿九日

陸軍大臣　林　銑十郎

陸軍

Doc. 2924 Evid. Folder 1

(550)

操縦學生　航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ主トシテ飛行機操縦ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ十月トス

特種學生　航空兵科尉官及下士官ヲ以テ之ニ充テ航法又ハ氣象ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常航法ニ付テハ尉官ヲ隔年一回氣象ニ付テハ尉官ト下士官トヲ隔年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）尉官ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　生徒ハ飛行機操縦ニ從事スベキ航空兵科幹部候補生ヲ以

軍令陸第十號

所澤陸軍飛行學校令

第一條　所澤陸軍飛行學校ハ學生ニ飛行機操縱、航法、氣象等ノ諸學術ヲ修得セシメ是等諸學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ飛行機操縱、航法、氣象等ニ關スル教育ノ進歩ヲ圖リ竝ニ是等ニ必要ナル兵器及器材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

所澤陸軍飛行學校ニ於テハ前項ノ外飛行機操縱ニ從事スベキ航空兵科幹部候補生タル生徒ニ必要ナル教育ヲ行ヒ且航空衞生ニ關スル調査、研究及試驗ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ二種トス

官報照合

テ之ニ充ツ其ノ修學ニ關シテハ陸軍大臣之ヲ定ム

第四條　陸軍大臣ハ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　學生及生徒ノ教育ニ任ゼシムル爲所澤陸軍飛行學校ニ教育部ヲ置ク

第六條　飛行機操縱、航法、氣象、航空衛生等ニ關スル諸般ノ調査、研究及試驗ヲ遂ゲシムル爲所澤陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

第七條　生徒ノ訓育ニ任ゼシムル爲所澤陸軍飛行學校ニ生徒隊ヲ置ク

第八條　器材ノ修理及研究竝ニ學生及生徒ノ實習ニ供スル爲所澤陸軍飛行學校ニ材料廠ヲ置ク

第九條　所澤陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

生徒隊長
生徒隊附
材料廠長
材料廠附
准士官、下士官及判任文官

第十條　校長ハ陸軍航空本部長ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十一條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査及研究ノ統一ヲ圖ル

第十二條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十三條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十四條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術ノ授業ヲ分擔ス

第十五條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ諸般ノ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十六條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十七條　生徒隊長ハ生徒隊ヲ統ベ校長ノ命ヲ承ケ訓育ヲ掌理ス

第十八條　生徒隊附ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第十九條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十一條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又

ハ事務ニ從事ス
第二十二條　學生及第四條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス
第二十三條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部竝ニ陸軍航空本部長所轄ノ官衙及學校ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且陸軍航空本部長ニ通報スベシ
第二十四條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營内居住者タル下士

官ノ學生ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具及消耗品等ハ之ヲ貸與シ又ハ支給スルコトヲ得但シ營外居住者タル操縱學生ハ校內ニ居住セシムルコトヲ得
營外居住者タル下士官ノ學生ニ在リテハ兵器ヲ、營內居住者タル下士官ノ學生ニ在リテハ兵器及被服ヲ所屬隊ヨリ携行スルモノトス

第二十五條　學生ノ願居其ノ他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十六條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ

退校セシム
第二十七條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムルモノハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ所要ノ期間之ヲ滯學セシムルコトヲ得
第二十八條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ學生ノ成績ヲ審査シ修業成績書ヲ調製シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ本人ノ所管長官ヲ經テ之ヲ所屬部隊長ニ送付シ下士官ニハ學術修業證書ヲ付與スルモノトス
滯學セシメラレタル學生修學ヲ終リタルトキハ前項ノ規定ニ準

ジ之ヲ取扱フモノトス

第二十九條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ教育總監又ハ師團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年軍令陸第七號陸軍飛行學校令ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際從前ノ規定ニ依ル操縱學生タル者ハ本令ニ依ル操縱學生ト爲リタルモノトス

當分ノ内操縦學生ノ入校回數ヲ増加シ且操縦學生ハ各兵科（憲兵科ヲ除ク）下士官ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

昭和十年度ニ限リ陸軍補充令第八十三條第一項ニ該當スル下士官候補者ノ教育ヲ行フコトヲ得

朕下志津陸軍飛行學校令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名　御璽

昭和十年七月廿九日

陸軍大臣　林　銑十郎

陸軍

軍令陸第十一號

下志津陸軍飛行學校令

第一條　下志津陸軍飛行學校ハ學生ニ偵察飛行隊ニ必要ナル諸學術ヲ修得セシメ之ヲ各隊ニ普及シ是等諸學術ニ關スル調査及研究ヲ行ヒ以テ偵察飛行隊教育ノ進歩ヲ圖リ且偵察飛行隊ニ必要ナル兵器及器材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

下志津陸軍飛行學校ニ於テハ前項ノ外下士官候補者ニ航空兵科下士官タルニ必要ナル教育ヲ行ヒ且航空ニ關スル通信、寫眞等ノ教育及研究ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ四種トシ特種學生ヲ除クノ外通常毎年

軍令陸第十一號
官報照合

陸軍

~~一回入校セシム~~

甲種學生　航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ主トシテ戰術及偵察ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

通常毎年一回入校セシメ

乙種學生　新ニ飛行機操縦ヲ修得シタル航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ主トシテ偵察操縦ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

通常毎年一回入校セシメ

偵察學生　各兵科（憲兵科ヲ除ク）尉官ヲ以テ之ニ充テ偵察ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ五月トス

通常毎年一回入校セシメ

特種學生　航空兵科尉官及下士官ヲ以テ之ニ充テ通信、寫眞等ニ關スル學術ヲ修習セシム通常尉官ト下士官トヲ隔年一

間入校セシメ其ノ修學期間ハ通信ニ付テハ尉官概ネ一年下士官概ネ六月、寫眞ニ付テハ尉官概ネ五月下士官概ネ三月トス

必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）尉官ヲ以テ甲種、乙種及特種學生ト爲スコトヲ得

第三條　下士官候補者ヲ分チテ左ノ三種トシ通常毎年一回入校セシム

操縱下士官候補者　各隊ヨリ分遣スル下士官候補者ヲ以テ之ニ充テ主トシテ偵察操縱ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

戰技下士官候補者　各隊ヨリ分遣スル下士官候補者ヲ以テ之ニ充テ主トシテ空中勤務ニ必要ナル基礎學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

通信下士官候補者　各隊ヨリ分遣スル下士官候補者ヲ以テ之ニ充テ主トシテ無線通信ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第四條　陸軍大臣ハ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　下士官候補者ノ教育綱領ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ陸軍航空本部長之ヲ定ム

第六條　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　學生及下士官候補者ノ教育ニ任ゼシムル爲下志津陸軍飛行學校ニ教育部ヲ置ク

第八條　偵察、通信、寫眞等ニ關スル諸般ノ調査、研究及試驗ヲ遂ゲシムル爲下志津陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

第九條　學生ノ教育竝ニ諸般ノ研究及試驗ニ充ツル爲下志津陸軍飛行學校ニ教導隊ヲ置キ飛行隊ヨリ兵及所要ノ下士官ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

下士官候補者訓育ノ爲教導隊內ニ下士官候補者隊ヲ置ク

第十條　器材ノ修理及研究竝ニ學生及下士官候補者ノ實習ニ供スル爲下志津陸軍飛行學校ニ材料廠ヲ置ク

第十一條　下志津陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

學校附

教官

研究部部員

研究部主事

教導隊長

教導隊副官

教導隊中隊長

教導隊下士官候補者隊長

教導隊附

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第十二條　校長ハ陸軍航空本部長ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十三條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査及研究ノ

統一ヲ圖ル

第十四條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十五條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十六條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術ノ授業ヲ分擔ス

第十七條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ諸般ノ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十八條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且諸般ノ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十九條　教導隊職員ノ服務ハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス

第二十條　教導隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ訓育ヲ掌ル

第二十一條　下士官候補者隊長ハ教導隊長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ訓育ニ任ズ

第二十二條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十三條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十四條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第二十五條　學生及第四條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日並ニ召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十六條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部長

ニ陸軍航空本部長所轄ノ官衙及學校ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且陸軍航空本部長ニ通報スベシ

第二十七條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營內居住者タル下士官ノ學生及下士官候補者ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具及消耗品等ハ之ヲ貸與シ又ハ支給スルコトヲ得

營外居住者タル下士官ノ學生ニ在リテハ兵器ヲ、營內居住者タル下士官ノ學生及下士官候補者ニ在リテハ兵器及被服ヲ所屬隊

ヨリ携行スルモノトス

第二十八條　學生故下士官候補者ノ願届其ノ他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十九條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第三十條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムルモノハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ所要ノ期間之ヲ滯學セシムルコトヲ得

第三十一條　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十二條　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第三十三條　下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ倘望アリト認ムルモノ

ハ所要ノ期間之ヲ滞學セシムルコトヲ得

第三十四條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル下士官候補者ハ之ヲ歸隊セシム

第三十五條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ學生ノ成績ヲ審査シ修業成績書ヲ調製シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付シ下士官以下ニハ學術修業證書ヲ付與スルモノトス

滞學セシメラレタル學生修學ヲ終リタルトキハ前項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十六條　下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ校長ハ考科列序ヲ定メ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ戰技下士官候補者ニ在リテハ之ヲ濱松陸軍飛行學校ニ入校セシメ其ノ他ノ者ニ在リテハ之ヲ歸隊セシム

滯學セシメラレタル下士官候補者修學ヲ終リタルトキハ前項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十七條　教導隊ニ分遣スベキ兵ハ初年兵ヨリ選抜シ下士官ハ尚一年以上現役ニ服スベキ者ナルコトヲ要ス

第三十八條　教導隊ニ分遣ノ下士官兵ハ兵器及被服ヲ所屬隊ヨリ携行スルモノトス

第三十九條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ教育總監又ハ師團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕明野陸軍飛行學校令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名　御璽

昭和十年七月廿九日

陸軍大臣　林　銑十郎

軍令陸第十二號

明野陸軍飛行學校令

第一條　明野陸軍飛行學校ハ學生ニ戰鬪飛行隊ニ必要ナル諸學術ヲ修得セシメ之ヲ各隊ニ普及シ是等諸學術ニ關スル調査及研究ヲ行ヒ以テ戰鬪飛行隊教育ノ進歩ヲ圖リ且戰鬪飛行隊ニ必要ナル兵器及器材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

明野陸軍飛行學校ニ於テハ前項ノ外下士官候補者ニ航空兵科下士官タルニ必要ナル教育ヲ行ヒ且空中射擊ニ關スル諸般ノ研究竝ニ火器ノ取扱及對空射擊ノ教育及研究ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ三種トシ通常每年一回入校セシム

軍令陸第十二號

七月昔

官報照合

甲種學生　航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ主トシテ戰闘及空中戰闘ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縱ヲ修得シタル航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ主トシテ戰闘操縱ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

特種學生　航空兵科尉官及下士官ヲ以テ之ニ充テ火器ノ取扱及對空射撃ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常尉官ト下士官トヲ隔年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）尉官ヲ以テ學生ト爲スコト

ヲ得

第三條　下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル者ヲ以テ之ニ充テ主トシテ戰闘操縦ニ必要ナル學術ヲ修習セシム通常毎年一回入校セシメ其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

第四條　陸軍大臣ハ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　下士官候補者ノ教育綱領ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ陸軍航空本部長之ヲ定ム

第六條　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　學生及下士官候補者ノ教育ニ任ゼシムル爲明野陸軍飛行學校ニ教育部ヲ置ク

第八條　空中戰闘、空中及對空射擊、火器等ニ關スル諸般ノ調査、研究及試驗ヲ遂ゲシムル爲明野陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

第九條　下士官候補者ノ教育ノ爲明野陸軍飛行學校ニ下士官候補者隊ヲ置キ下士官候補者ヲ以テ之ヲ編成ス

第十條　器材ノ修理及研究竝ニ學生及下士官候補者ノ實習ニ供スル爲本校ニ材料廠ヲ置ク

第十一條　明野陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事
副官
學校附
教官
研究部部員
研究部主事
下士官候補者隊長
下士官候補者隊附
材料廠長
材料廠附

陸

軍

准士官、下士官及判任文官

第十二條　校長ハ陸軍航空本部長ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十三條　幹事ハ校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理シ教育、調査及研究ノ統一ヲ圖ル

第十四條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十五條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十六條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術ノ授業ヲ分擔ス

第十七條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ諸般ノ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十八條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要ス

陸
軍

ル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且諸般ノ調査、研究及試験ヲ分擔ス

第十九條　下士官候補者隊職員ノ服務ハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス

第二十條　下士官候補者隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ訓育ニ任ズ

第二十一條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十二條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十三條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第二十四條　學生及第四條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日並召集期間ハ陸

軍大臣之ヲ告達ス

第二十五條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部竝ニ陸軍航空本部長所轄ノ官衙及學校ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且陸軍航空本部長ニ通報スベシ

第二十六條　營外居住者タル學生ハ校外ニ、營內居住者タル下士官ノ學生及下士官候補者ハ校內ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具及消耗品等ハ之ヲ貸與シ又ハ支給スルコトヲ得

營外居住者タル下士官ノ學生ニ在リテハ兵器ヲ、營內居住者タル下士官ノ學生及下士官候補者ニ在リテハ兵器及被服ヲ所屬隊ヨリ携行スルモノトス

第二十七條　學生及下士官候補者ノ願居其ノ他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十八條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ退校セシム

第二十九條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ校長其

ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ所要ノ期間~~ヲ~~滯學セシムルコトヲ得

第三十條　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十一條　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第三十二條　下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ所要ノ期間之ヲ滯學セシムルコトヲ得

第三十三條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル下士官候補者ハ之ヲ歸隊セシム

第三十四條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ學生ノ成績ヲ審査シ修業成績書ヲ調製シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付シ下士官以下ニハ學術修業證書ヲ付與スルモノトス

滑學セシメラレタル學生修業ヲ終リタルトキハ前項ノ規定ニ準
ジ之ヲ取扱フモノトス
第三十五條　下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ校長ハ考科
列序ヲ定メ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付
與シ之ヲ歸隊セシム
滑學セシメラレタル下士官候補者修學ヲ終リタルトキハ前項ノ
規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス
第三十六條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシ
ムルコトヲ得
第三十七條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ教育總監又ハ

師團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

陸

軍

朕濱松陸軍飛行學校令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名御璽

昭和十年七月廿九日

陸軍大臣　林　銑十郎

陸軍

軍令陸第十三號

濱松陸軍飛行學校令

第一條　濱松陸軍飛行學校ハ學生ニ爆撃飛行隊ニ必要ナル諸學術ヲ修得セシメ之ヲ各隊ニ普及シ是等諸學術ニ關スル調査及研究ヲ行ヒ以テ爆撃飛行隊教育ノ進歩ヲ圖リ且爆撃飛行隊ニ必要ナル兵器及器材ノ研究及試驗ヲ行フ所トス

濱松陸軍飛行學校ニ於テハ前項ノ外下士官候補者ニ航空兵科下士官タルニ必要ナル教育ヲ行ヒ且航空部隊ノ運用ニ關スル教育及研究ヲ行フ

第二條　學生ヲ分チテ左ノ三種トシ通常毎年一回入校セシム

軍令陸第十三號
官報照合
七月廿四日

戰術學生　航空兵科尉官中ヨリ若干名ヲ選拔シ主トシテ航空部隊ノ運用ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

甲種學生　航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ主トシテ戰術及爆擊ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

乙種學生　新ニ飛行機操縦ヲ修得シタル航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ主トシテ爆擊操縦ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）尉官ヲ以テ學生ト爲スコトヲ得

第三條　下士官候補者ヲ分チテ左ノ二種トシ通常毎年一回入校セシム

操縱下士官候補者　各隊ヨリ分遣スル下士官候補者ヲ以テ之ニ充テ主トシテ爆擊操縱ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ三月トス

戰技下士官候補者　下志津陸軍飛行學校ニ於テ戰技下士官候補者ノ課程ヲ終了シタル者ヲ以テ之ニ充テ主トシテ空中射擊、空中戰鬪及爆擊ニ必要ナル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ六月トス

第四條　陸軍大臣ハ臨時ニ各兵科（憲兵科ヲ除ク）將校以下ヲ召

集シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　下士官候補者ノ教育綱領ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ陸軍航空本部長之ヲ定ム

第六條　下士官候補者ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ基キ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條　學生及下士官候補者ノ教育ニ任ゼシムル爲濱松陸軍飛行學校ニ教育部ヲ置ク

第八條　爆撃、航空部隊ノ運用等ニ關スル諸般ノ調査、研究及試驗ヲ遂ゲシムル爲濱松陸軍飛行學校ニ研究部ヲ置ク

第九條　學生ノ教育及將校以下ニ爆撃機ニ關スル特種ノ教育ヲ行

ヲ爲濱松陸軍飛行學校ニ練習隊ヲ置キ飛行隊ヨリ兵及所要ノ下士官ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第十條　下士官候補者訓育ノ爲濱松陸軍飛行學校ニ下士官候補者隊ヲ置ク

第十一條　器材ノ修理及研究並ニ學生及下士官候補者ノ實習ニ供スル爲濱松陸軍飛行學校ニ材料廠ヲ置ク

第十二條　濱松陸軍飛行學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

幹事

副官

陸軍

學校附
教官
研究部部員
研究部主事
練習隊長
練習隊副官
練習隊附
下士官候補者隊長
下士官候補者隊附
材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第十三條　校長ハ陸軍航空本部長ニ隷シ校務ヲ總理ス

第十四條　幹事ハ校長ヲ補佐シ校務ヲ整理シ教育、調査及研究ノ統一ヲ圖ル

第十五條　副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十六條　學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十七條　教官ハ校長ノ命ヲ承ケ學術ノ授業ヲ分擔ス

第十八條　研究部部員ハ校長ノ命ヲ承ケ諸般ノ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第十九條　研究部主事ハ校長ノ命ヲ承ケ調査、研究及試驗ニ要スル資料ノ蒐集整理ニ任ジ且諸般ノ調査、研究及試驗ヲ分擔ス

第二十條　練習隊及下士官候補者隊職員ノ服務ハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス

第二十一條　下士官候補者隊長ハ校長ノ命ヲ承ケ下士官候補者ノ訓育ニ任ズ

第二十二條　材料廠長ハ校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十三條　材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十四條　准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ技術又ハ事務ニ從事ス

第二十五條　學生及第四條ノ規定ニ依リ召集スル者ノ人員（必要アルトキハ其ノ人名）、入校又ハ召集ノ期日及召集期間ハ陸軍大臣之ヲ告達ス

第二十六條　前條ノ告達アリタルトキハ所管長官（陸軍航空本部竝ニ陸軍航空本部長所轄ノ官衙及學校ニ在リテハ陸軍航空本部長以下之ニ同ジ）ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校又ハ召集ノ期日前ニ其ノ所屬部隊、官等級及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告シ且陸軍航空本部長ニ通報スベシ

第二十七條　學生ハ校外ニ、下士官候補者ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具及消耗品等ハ之ヲ貸與

陸　軍

シ又ハ支給スルコトヲ得
下士官候補者ハ兵器及被服ヲ所屬隊ヨリ携行スルモノトス

第二十八條　學生及下士官候補者ノ願居其ノ他業務ニ關スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ關ス

第二十九條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學術修得ノ目途ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ退校セシム

第三十條　學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間內ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ所要ノ期間之ヲ滯學セ

シムルコトヲ得

第三十一條　下士官候補者ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第三十二條　下士官候補者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一　軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二　品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

三　學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者

四　傷痍疾病ニ因リ修學ニ堪ヘザル者

五　前各號ノ外下士官タルニ適セズト認ムル者

第三十三條　下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期

間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認ムルモノハ所要ノ期間之ヲ滯學セシムルコトヲ得

第三十四條　前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

退校セシメラレタル下士官候補者ハ之ヲ歸隊セシム

第三十五條　校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ學生ノ成績ヲ審査シ修業成績書ヲ調製シ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ本人ノ所管長官ヲ經テ之ヲ所屬部隊長ニ送付スベシ

滯學セシメラレタル學生修學ヲ終リタルトキハ前項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十六條　下士官候補者卒業ノ期ニ至リタルトキハ校長ハ考科列序ヲ定メ陸軍航空本部長ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與シ之ヲ歸隊セシム

滑學セシメラレタル下士官候補者修學ヲ終リタルトキハ前項ノ規定ニ準ジ之ヲ取扱フモノトス

第三十七條　練習隊ニ分遣スベキ兵ハ初年兵ヨリ選拔シ下士官ハ尙一年以上現役ニ服スベキ者ナルコトヲ要ス

第三十八條　練習隊ニ分遣ノ下士官、兵ハ兵器及被服ヲ所屬隊ヨリ携行スルモノトス

第三十九條　職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシ

ムルコトヲ得

第四十條　研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ教育總監又ハ師團長ニ稟議シ其ノ學校又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

理由書

一、所澤陸軍飛行學校令

航空部隊ノ増備擴張ニ伴ヒ飛行學校ニ於ケル教育研究ノ内容亦著シク増大且複雜化シ一飛行學校令ニ依リ悉ク律スルコトハ適當ナラザルノミナラズ從來所澤陸軍飛行學校ニ於テ行ヒタル操縦生徒ノ教育ハ熊谷陸軍飛行學校ニ又航空技術ニ關スル教育ハ陸軍航空技術學校ニ分離獨立セシムルノ要アルニ由ル

二、下志津陸軍飛行學校令

下志津陸軍飛行學校ハ主トシテ偵察飛行隊ニ關スル教育研究

機關タル趣旨ヲ明徵シ且下志津陸軍飛行學校ニ於テ新ニ下士官候補者教育ヲ行ハシムルノ要アルニ由ル

三、明野陸軍飛行學校令

明野陸軍飛行學校ハ主トシテ戰鬪飛行隊ニ關スル教育研究機關タル趣旨ヲ明徵ニシ且明野陸軍飛行學校ニ於テ新ニ下士官候補者教育ヲ行ハシムルノ要アルニ由ル

四、濱松陸軍飛行學校令

濱松陸軍飛行學校ハ主トシテ爆擊飛行隊ニ關スル教育研究機關タル趣旨ヲ明徵ニシ且濱松陸軍飛行學校ニ於テ新ニ下士官候補者教育及航空部隊ノ運用ニ關スル教育研究ヲ行ハシムルノ

陸

軍

要アル二由ル

貳第一三四九號 其一

牧

教庶第一三六〇號

所澤陸軍飛行學校令外三件制定ノ件回答

昭和十年七月八日

教育總監 眞崎甚三郎

陸軍大臣 林銑十郎殿

陸普第三七九八號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件當方異存無之

陸軍

貳第一三四九號 其二

參謀本部
庚日第二號ノ五三

所澤陸軍飛行學校令外三件制定ノ件回答

昭和十年七月二十二日　參謀總長　載仁親王

陸軍大臣　林銑十郎殿

首題ノ件ニ關シ七月三日陸普第三七九八號ヲ以テ照會ノ趣異存ナシ

陸軍大臣官房 昭和10.7.23 前午

陸軍省 10.8.6 軍事課

陸
軍

日本祭典間受付タル遺族及特別參拜者ノ數左表ノ如シ

新		舊	
遺族		遺族	特別

七 二

保存期限

決裁指定

決行指定 次官委任

成規

受領番號 貳第一六九二號

件名 憲兵隊配置及憲兵分隊管區中改正ノ件

起元廳（課）名 憲兵司令部

政務次官 參與官 回付

決裁前 連帶課名 兵、法、書

決裁後 決行（決裁）後 回覧課名

永久甲

大臣

主務局課 番號 軍事貳第[illegible]號

受領 昭和 年 八月廿八日

提出 昭和 年 月 日

大臣官房 受領 昭和 年 月 日

結了 昭和 年 九月七日

連帶 局長 課長

決行（決裁）後回覧 局長 課長

主務局長 次官 政務次官

主務課長 高級副官 參與官

主務課員 主務副官 官房御用掛主計 書記官

審案 筆記者

陸軍省 10.8.28 受第274號

陸軍省 10.8.29 受第1681號 法務局

陸軍

省令案

大正十四年陸軍省令第十六號憲兵隊配置及憲兵分隊管區中左ノ通改正ス

昭和十年　月　日

陸軍大臣　林銑十郎

東京憲兵隊上野憲兵分隊ノ項中「熊谷　埼玉縣大里郡三尻村」ヲ「三尻　埼玉縣大里郡三尻村」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍省令第十一號

官報照合

九月三日

日本祭典間受付ケル遺族及特別參拜者ノ數左表ノ如シ